



(公社)日本歯科先端技術研究所 近畿・北陸地区 2019年度 学術講演会のご案内



■大会長
日本歯科先端技術研究所
副会長／近畿・北陸地区会長
森本 恭司



■学術委員長
日本歯科先端技術研究所
理事
下野 純司



■実行委員長
日本歯科先端技術研究所
近畿・北陸地区会員
岡田 弘二 (大阪)

インプラント治療におけるCT活用 ～今、歯科におけるCTをこの上なく深堀する～



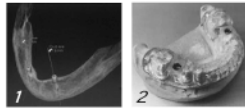
■特別講師 **十河 基文**

略歴
1988年 大阪大学歯学部卒業／同大学(歯) 歯科補綴学第二講座 入局(有床義歯学)
1997年 同大学(歯) 口腔総合診療部 移籍(卒後臨床研修)
2001年 講師昇任
2003年 大学発ベンチャーで株式会社iCAT 起業(取締役 CTO:兼業)
2006年 同大学(歯) 退職
株式会社アイキャット 代表取締役 CTO 就任
2018年 大阪大学(歯) イノベティブ・デンティストリー戦略室 教授就任
株式会社アイキャット 代表取締役(兼業)

学生講義／実習など
長崎大学歯学部 5年生 06年～(口腔インプラント分野)
奥羽大 歯学部 4年生 13年～(口腔インプラント学)
徳島大学歯学部 5年生 15年～(口腔インプラントセンター)
朝日大学歯学部 3年生 15年～(歯科放射線学分野)
鹿児島大学歯学部 4年生 15年～(口腔顎顔面補綴学分野)
昭和大学歯学部 3年生 16年～(歯科放射線学分野)

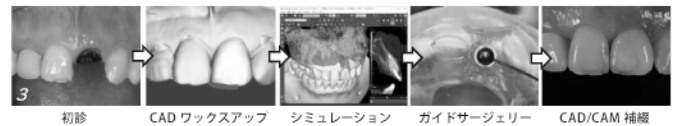
所属学会など
日本口腔インプラント学会
日本デジタル歯科学会
日本歯科補綴学会
医療健康機器開発協会
SAFE

■当然の時代:1973年医科用CTがイギリスで誕生し、2000年直前には歯科用CTが誕生して今や「インプラントの診断はパノラマだ」という先生方はいなくなり100%CT撮影となった。そして昔は「俺は匠なのでいらぬ」という先生方が大半だったのが、今やガイドサージェリーをする先生方も日々増えている現実がある。歯科医師国家試験をみても、2015年春の第108回ではインプラントオーバーデンチャーの3D画像が出題され(図1)、続く2017年春(第110回)にはガイドサージェリーの問題も出題された(図2)。



■CT診断の実は…:インプラントの診断においてCT撮影をいつもしている先生でも、「毎日CT診断はしているけどわからんと使ってたわ」という言葉を耳にする。例えば上述の3D画像。「えっ?最近よく見るCAD/CAMのデータとは性質が違うの?知らなかったわ!」と聞いたりする。その他、「昔は医科用CTで診断していたけど今は自院の歯科用CT。そもそも何が違うの?」とか、「CTの細かさって“ボクセルサイズ”と違うんや!」とか、「CT撮影時にちょっとして工夫で画像が見やすいね!」とか、「一番気になるのは下顎骨。CTシミュレーションで見つけるのに時間がかかったけど、こうしたら結構ラクやね。」などとおっしゃる先生も多い。また最近では、デジタルデンティストリーの一気

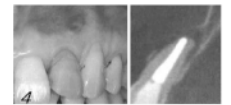
通貫(図3)と言われるけど、何をどうしたらいいの?といった声も聞く。講演ではそんな素朴な疑問を掘り下げてお話ししたい。



(図3:山羽徹先生(大阪府公開業)のご厚意による)

■ガイドサージェリーあるある:また「ガイドサージェリーをしたけどなんか思った位置に埋入できてないなあ〜」とか、「形成中にドリルがガイドに引っ掛かって使わなかったわ。そんなもん?」といった声も聞く。そんなガイドの注意点についてもお話ししたい。

■エンドやベリオ:最後にインプラントだけでなくさらに歯科用CTの有効性を実感するのは歯科の一般診療であるエンドやベリオだ。2017年(第110回)の国試でも出題されている(図4)。そんな一般診療におけるCT活用についても時間があればお話し、頂戴した3時間でこの上なくを深堀したい。



■日 時 令和2年 3月1日(日)

学術講演会 9:00～12:30

総 括 12:30～13:00

■会 場 ホテルニューオータニ大阪
2F 鳳凰の間

大阪府中央区城見 1-4-1 TEL:06-6941-1111

■受講料 会員無料 / 非会員 5,000 円 (招待者 無料)

お申込・お問い合わせ先 (公社)日本歯科先端技術研究所 近畿・北陸地区 TEL:072-223-8776 FAX:072-222-8447(担当)村田

(公社)日本歯科先端技術研究所 近畿・北陸地区 2019年度 学術講演会 申込書

FAX:072-222-8447

氏名:	勤務先:
住所:	
TEL:	FAX:
	e-mail: